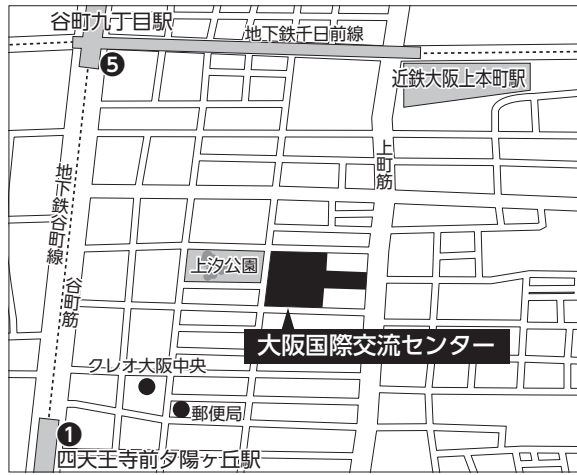


# 4/14に点数説明会

診療報酬改定へ向け、協会は新点数中央説明会を4月14日、大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）で開く。今改定では、協会は診療報酬改定の点数説明会を4月14日の中央会場を含め府下5カ所で開催しよう予定している。中央会場は会員限定とし、スタッフを含めた説明会は中央会場以外の、府下4カ所での開催地で参加可能とする。未入会者には、ぜひこの機会に入会をお勧めしたい。要事前予約制、中央説明会は保育の受入れを予定。各申し込みについては本紙3月5日付で詳報。



日時：4月14日(日)  
午後1時～4時(正午開場)  
会場：大阪国際交流センター  
講師：社保研究部・政策部両講師団  
持参物：『2024年改定の要点と解説』 および  
入場ハガキ（3月下旬に別途郵送）  
会費：無料、会員限定



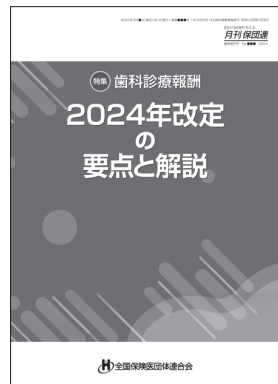
## 大阪府 福祉医療費助成制度

### 未来院請求 2月診療分から適用に

大阪府の福祉医療費助成制度の患者に対し、補綴物の未来院請求が2月診療分から適用となる。重度障がい者医療、ひとり親家庭医療、乳幼児医療の対象者で、補綴物製作途中で未来院となった場合、医療費助成部分が支払われる取り扱いが明確となった。未来院請求は実日数0日のレセプトを別途作成するが、請求月の来院が2日以上あり、印象採得などが請求されていればレセプトの患者負担額（公費）の欄には0円、請求月内の来院が1日または0日の場合は500円と記載する。製作月が2月のものから対象となる。2月装着予定で2月診療がないものは対象とならない。

公費分 点数	請求 決定	点 点	合計	1,523	点
患者負担額 (公費)	500	円	決定	*	点
高額療養費	*	円	一部負担 金額	減額 免除・支払猶予	円

## 『2024年改定の要点と解説』 《3月下旬 郵送》



『2024年改定の要点と解説』は3月下旬に、点数説明会の入場ハガキとは別に会員に郵送します。当日は必ずご持参ください。

## PR増刷号

今号はPR版として大阪府下の全歯科開業医にお送りしています。この機会に協会へのご入会をご検討ください。

近畿厚生局・各種名簿などで情報を取得し、未入会の先生に本紙をお送りしています。この情報は、ご入会や講習会、各種共済制度のご案内、新聞送付以外に利用するとはありません。郵送停止をご希望の方は事務局までご連絡ください。

〈お問い合わせは組織部まで〉  
Tel.06-6568-7731

2/5

2024年第1481号

(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会  
会 武  
発 和  
行 田  
人 武  
大 大  
阪 阪  
市 市  
浪 浪  
速 速  
区 区  
幸 幸  
町 町  
1-2-33  
電 電  
話 話  
(06)6568-7731(代表)  
http://osk-hok.org/  
● 定価・年間10,000円 月1,000円  
● 1977年5月23日第三種郵便物認可

過去の新点数中央説明会より

## 万博は中止を被災地への支援

### 理事会声明を発表 万博中止求め署名に取り組む

協会は1月13日、理事会声明「大阪・関西万博は中止を」と令和6年能登半島地震への復旧・復興に支援を」を発表した(以下、声明抜粋)。あわせて万博中止を求めて署名に取り組むことを決めた。会員の先生方へのご協力をお願いしたい。

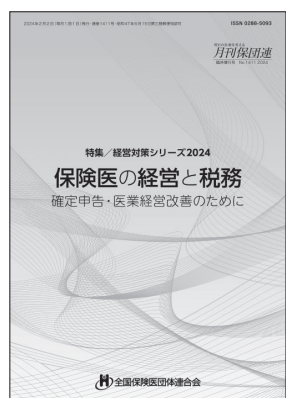
2025年4月開催予定の「大阪・関西万博」まで460日を切ったが、会場建設費用の大幅な上振れや、会場整備の大幅な遅れに加え、新たな公費負担が懸念されている。また会場の「夢洲」の汚染土壌や地盤沈下の問題、台風や地震等の自然災害時に迅速な避難ができず甚大な被害が想定されている。協会は、府民・大阪市民の負担を減らし、いのちと暮らしを守る立場から「大阪・関西万博」の中止を強く求める。

今なら万博は止められ

る。4月13日までに博覧会国際事務局総会で2/3以上の決議で中止すれば損失補填350億円(それ以降は844億円)で済む。これは建設中の木造建築「大屋根(リング)」(2025年4/13〜10/3の万博開催後に撤去)の建設費用とほぼ同額だ。

## 今号に同封しています

(会員のみ)



● 『保険医の経営と税務』  
2024年版同封しています。  
● 5〜8面 確定申告特集  
「青色申告決算書付表」の記載方法、「個人所得税の主な改正事項」など

### 署名にご協力を

万博中止を求める署名を今号に同封しています。ご協力をお願いします。

## 歯界

国試について、先生方のお子さんも受験され、本来なら合格発表が待ちきれない状況では、どれだけの点数を取れば合格なのかと、不安が拭いきれない方も多いのではないかと。

歯学部卒業者と国試合格者との乖離が極端になっている。文科省からすると毎年適正人数を設定しているだけとなるのだが、受験生からすると大学から適正水準の学力を納めたから卒業したのに、合格水準が年々変わるのではなかったものじゃない。ただでさえ6年で卒業できるのが珍しくなり、途中退学者もかなりいる。歯科医師の卵は厳しい試験が入学と同時に続く現状だ。

昔、政治家を揶揄して選挙に落ちればただの人と言われたが、国家試験を合格しなければただの人で済むのだろうか。

今、日本は人口減少が問題になっている。資源のない日本、一番大事なのは人的資源だったはずである。その資源を無駄に消耗させているように私には思える。(T)

大阪(府)  
物価高騰対策等  
医療機関支援金  
申請期限  
2月13日まで